

# つくば市記者会 御中

発信日：令和6年（2024年）9月18日（水）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 科学技術戦略課

■取材依頼 ■周知依頼 □募集告知 □その他

## こどもMaaSサービスの実証実験を行います

つくば市は、「つくばスーパーサイエンスシティ構想」の下、自家用車に頼らなくても移動できる街の実現を目指しています。この度、つくば市、東海クラリオン株式会社及びJAXA（宇宙航空研究開発機構）は、子育て世代向けサービスとして、ペDESTリアンデッキに接する施設を低速自動走行モビリティで結び、子どもの安全な移動を支援する「こどもMaaSサービス」の実証実験を実施します。詳細は別添を御覧ください。

**【日時】** 令和6年9月30日（月）～10月9日（水）  
10時～18時（不定期）

**【場所】** つくばセンター地区ペDESTリアンデッキ  
停留所：トナリエ前、BiViつくば前、  
エキスポセンター北側

### 【内容】

子どもを乗せて、低速自動走行モビリティ「YADOCAR-iドライブ」で自動走行（レベル2）の実証実験を行います。同時に、JAXAの高精度単独測位「MADOCA-PPP」をモビリティに適用し、測位の精度向上と高速化を実証します。

### 【取材方法】

取材をご希望の場合は、9月27日（金）12:00までに、問合せ先まで御連絡ください。



※画像提供可



※走行ルート

2024年9月18日

<報道発表資料>

つくば市  
東海クラリオン株式会社  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

## つくば市でこども MaaS サービスに関する実証実験を実施

茨城県つくば市（市長:五十嵐 立青、以下 つくば市）、東海クラリオン株式会社（所在地:愛知県名古屋市、代表取締役社長:安部 源太郎、以下 東海クラリオン）、宇宙航空研究開発機構（本社:東京都調布市、理事長:山川 宏、以下 JAXA）の3者は2024年8月31日、こどもの安全な移動を支援するこども MaaS サービス可能性調査事業の共同実施に関する協定を締結し、実証実験を行います。こども MaaS サービスとは、低速自動運転モビリティ<sup>※1</sup>により、こどもや保護者等の外出を支援する移動サービスです。

これを受け、2024年9月30日から2024年10月9日の間、つくばセンター地区において低速自動運転モビリティ「YADOCAR-i（ヤドカリ）ドライブ」での実証実験を実施し、以下の新しい価値の提案を目指します。

- (1)公共交通機関と距離の離れた公園・行楽スポットを結ぶ新たな移動手段
- (2)こども単独で習い事や学習塾等へ移動できる手段の提供

### ■背景・目的

- つくば市は、2022年にスーパーシティ型国家戦略特別区域として区域指定されました。戦略特区の行政施策の一環として「つくばスーパーサイエンスシティ構想」を策定し、住民のつながりを力にして、大胆な規制改革とともに先端的な技術とサービスをつくば市発で社会実装することで、多様な幸せをもたらす大学・国研連携型スーパーシティの実現を目指しています。
- また、つくば市は、子育て世代向けにこども MaaS サービスとして、ペDESTリアンデッキに接した主要公園等を結ぶ低速自動走行モビリティの社会実装を目指しています。自動車による送迎なしに公園や科学を体験できる施設に行けるようにするとともに、こどもたちにとっても乗車することが楽しい乗り物を提供します。また、児童クラブや習い事等のこども単独での安全な移動も支援し、子育てに優しい都市の魅力度を高めていきます。
- 東海クラリオンと JAXA は、新たな発想の宇宙関連事業の創出を目指す「JAXA 宇宙イノベーションパートナーシップ (J-SPARC)」の枠組みのもと、2023年6月より衛星測位技術を活用した「後のせ自動運転システム“YADOCAR-i ドライブ”」に関する共創活動を行っています。

[https://www.jaxa.jp/press/2023/08/20230808-1\\_j.html](https://www.jaxa.jp/press/2023/08/20230808-1_j.html)

### ■本実証実験の概要

つくばセンター地区のペDESTリアンデッキにおいて、こどもを乗せて、YADOCAR-i ドライブで自動走行（レベル2）する実証実験を行います。同時に、JAXA が研究開発に取り組むセンチメートル級測位補強信号を活用した高精度単独測位「MADOCA-PPP」を YADOCAR-i ドライブに適用することで、測位の精度向上と高速化を実証します。

※1：低速自動運転モビリティ

東海クラリオンが開発した既存の車両に"後付け"する自動運転システム『YADOCAR-i (ヤドカリ) ドライブ』は、地域内の新たな移動手段として、過疎地域で移動に困っている高齢者の外出促進や、観光地の周遊など、地域一体となって魅力づくりと経済の活性化を目指します。

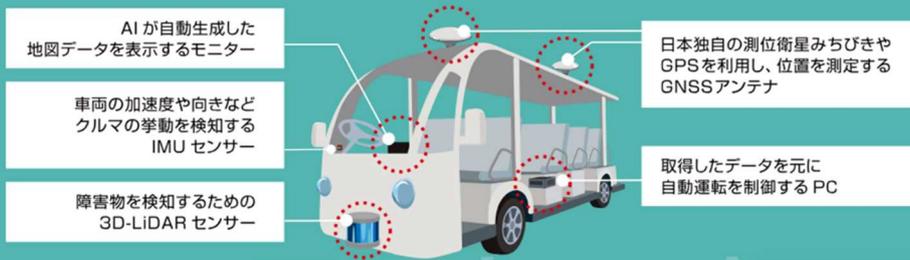
自動運転車は移動困難の解決の糸口ではありながら、非常に高額であり、実用に向けたコストバランスが取れていないことは大きな課題です。

そのため、時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス「グリーンスローモビリティ (通称: グリスロ)」をベースとして、最小限の機材で走行するローコストな低速自動運転車は、レンタルサイクルや、キックボードのような感覚で、誰でも手軽に使える移動サービスとなるための実証実験を各地で進めており、つくば市でも 2~3 年後の導入を見据えています。

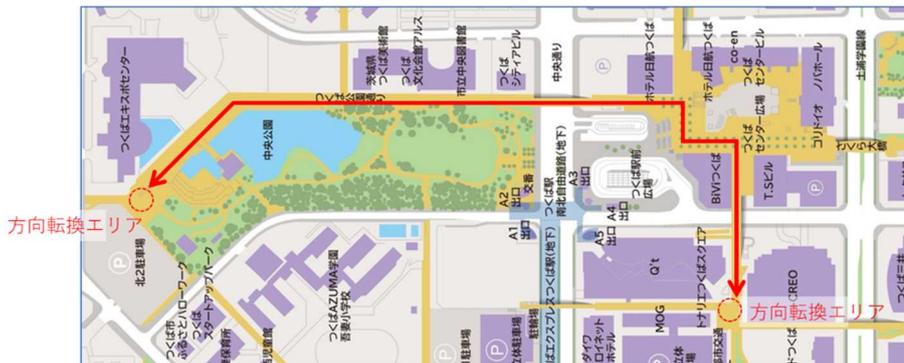


## スマートシティを実現する最新技術

2人乗りのマイクロEVから8人乗りのマイクロバスなど、手軽に自動運転へと変えられる「後のせ自動運転システム」  
既存車に簡単に組み込めるように設計されています。



<走行予定のYADOCAR-iドライブ>



<走行ルート>

## ■各社の役割

つくば市	事業全体の企画、進捗管理、成果測定など
東海クラリオン	YADOCAR-iドライブの運用など
JAXA	高精度測位技術「MADOCAPA-PPP」の提供など

## ■本件に関するお問い合わせ先

つくば市政策イノベーション部科学技術戦略課

担当：課長 中山 秀之、課長補佐 大垣 博文

電話： 029-883-1111（内線 6278）

Email：sts04@city.tsukuba.lg.jp

以 上